

鳥取市議会予算審査特別委員会建設水道分科会会議録

会議年月日	令和4年2月24日（木曜日）		
開 会	午前11時0分	閉 会	午後3時44分
場 所	市役所本庁舎6階 会議室6-7・8		
出席委員 (8名)	分科会長 雲坂 衛 副分科会長 勝田 鮮二 分科員 荻野 正己 太田 縁 前田 伸一 岡田 信俊 山田 延孝 吉田 博幸		
欠席委員	なし		
委員外議員	加嶋 辰史		
事務局職員	局長補佐 米田亜希子	議事係主事	田中 真一
出席説明員	<p>【下水道部】</p> <p>下水道部長 高木 要輔 次長兼下水道企画課長 山根 陽一 下水道企画課課長補佐 松尾 一繁 下水道企画課財務係長 遠藤 幸二 下水道企画課主査 湯谷 真裕 下水道企画課下水道管理室長 敦賀 裕貴 下水道企画課下水道管理室主査 田中 裕史 下水道経営課長 太田 潤一 下水道経営課課長補佐 本村 裕司 下水道経営課普及係長 前田 誠 下水道建設課長 河田 耕一 下水道建設課課長補佐 福山あゆみ 下水道建設課主査 吉村 幸治 下水道建設課建設第二係長 井上 幸一</p> <p>【都市整備部】</p> <p>都市整備部長 岡 和弘 次長兼都市企画課長 永井 利幸 都市企画課課長補佐 増田 泰則 交通政策課長 小森 毅彦 中心市街地整備課長 有本 公博 中心市街地整備課課長補佐 雁長 徹 次長兼都市環境課長 稲干 典史 都市環境課課長補佐 藪下 昇 道路課長 田村 温 道路課課長補佐 田中 和人 次長兼建築指導課長 尾坂 和昭 建築指導課参事 山田 泰弘 建築指導課課長補佐 森田 健 建築住宅課長 太田 忠孝 建築住宅課課長補佐 大角真一郎 建築住宅課課長補佐 山崎 修 鳥取南地域工事事務所長 長石 良幸 次長兼鳥取西地域工事事務所長 牧野 隆史</p>		
傍 聴 者	1人		
会議に付した事件	別紙のとおり		

予算審査特別委員会建設水道分科会に切替え 午前11時0分 開会

【下水道部】

- ◆雲坂 衛分科会長 それでは、時間になりましたので、これから予算審査特別委員会建設水道分科会を開会いたします。

議案第5号令和4年度鳥取市一般会計予算のうち所管に属する部分（説明）

◆雲坂 衛分科会長 それでは、議案第5号令和4年度鳥取市一般会計予算のうち、本分科会の所管に属する部分を御説明ください。太田課長。

○太田潤一下水道経営課長 はい。下水道経営課、太田です。そうしますと、一般会計予算のほうについて説明させていただきます。お配りしてあります資料1に沿って、職員人件費を除く、おおむね100万円以上のものについて、順次説明をさせていただきます。

それでは、資料1の3ページを御覧ください。3ページ、衛生費、保健衛生費の公害対策費になります。1個飛ばしまして、合併処理浄化槽設置費補助金でございます。予算額は504万4,000円です。これは、下水道等の整備が見込まれない区域におきまして、合併処理浄化槽を設置する方に対して、設置費の一部を補助する事業でございます。本年度は、過去の実績等を勘案しまして、新築4基、転換5基、計9基の補助を見込んでおります。特定財源につきましては、国補助金が86万1,000円、県支出金が122万6,000円ということでございます。

続いて、下がって事務費でございます。事務費の中の浄化槽事務費296万9,000円でございます。内容としましては、県から移管、権限移譲を受けました浄化槽法に係る事務経費であるとか、浄化槽の維持管理・法定検査等に係る指導事務に係る経費等でございます。細かい内容としましては、会計年度任用職員の人件費と管理指導通知等の郵送、それから啓発チラシ作成に係る経費でございます。さらに、この4年度から、令和2年の浄化槽法改正によりまして、浄化槽保守点検業者の登録・更新に必要となりました浄化槽管理士に対する研修、これを行っております。この費用につきましては、県と保健所設置市であります本市と折半で負担することになりまして、この部分につきましては、新規計上というような形をしております。経営課からは以上でございます。

◆雲坂 衛分科会長 敦賀室長。

○敦賀裕貴下水道企画課下水道管理室長 はい。下水道企画課下水道管理室、敦賀でございます。私からは、下水道管理室所管の予算のほう説明させていただきます。ただいまの公害対策費、事務費の下の浄化槽等維持管理費という項目でございますが、予算書の記載は、同じ222ページ、223ページであります。本年度の予算は990万円余りとなっております。これは、内訳としましては、2段に分かれておりますが、浄化槽分、それから青谷のコミプラ分というのがございます。浄化槽分につきましては、青谷・鹿野地域で市が管理している浄化槽、これの管理費ということで、計、これが86基でございます。予算は507万8,000円になっています。

また、その下の段の青谷の栄町に設置しておりますコミュニティープラントに関わるものが、490万円余りとなっております。特定財源のほうですけれども、特定財源が浄化槽分216万円余り、それから、コミプラ分が322万円余りとなっておりますが、これは、いずれも、この浄化槽等を使用しておられる方から頂いている浄化槽使用料でございます。以上が、浄化槽等維持管理費でございます。

続きまして、そのページの一番下の都市下水路費、維持管理費でございます。当室所管の予算につきましては、次のページ、4ページのほうに移っていただきまして、4ページ、一番上のほうにありますけれども、都市下水路費の維持管理費ということでございます。内訳としま

しては、ポンプ場管理費、これが803万円余り、都市・地域下水維持管理費、こちらのほうが1,217万円余りとなっております。いずれも一般財源でございます。

ポンプ場管理費につきましては、雨水排水施設のうちで、下水道認可施設に位置づけていない、宮長の第2ポンプ場と安長のポンプ場でございますけれども、その維持管理経費でございます。また、都市・地域下水維持管理費のほうは、雨水下水処理区域内にあります、法定外水路等の維持管理経費でございます。以上が、当室関連予算の説明でございます。

◆雲坂 衛分科会長 山根次長。

○山根陽一次長兼下水道企画課長 はい。下水道企画課、山根でございます。ページを1枚戻っていただきまして、3ページです。5農林水産業費、他会計繰り出し、下水道等事業会計へ繰り出しでございます。予算書246ページ、事業別概要は193ページでございます。予算額14億6,400万円余り、前年に比べて4億2,300万円余りの増でございます。下水道等事業会計の健全な運営を図るために、一般会計からの繰出金で、集落排水施設の維持管理や建設事業債の償還に対する繰り出しでございます。繰り出しの目的につきましては、先ほど、補正予算のほうでも御説明いたしましたので、省略させていただきます。

はぐっていただきまして、4ページを御覧ください。一番最後のところですが、土木費、他会計繰り出し、下水道等事業会計へ繰り出しで、予算書268ページ、事業別概要書193ページでございます。下水道等事業会計への繰出金です。予算額22億4,600万円余り、前年度に比べて5億2,100万円余りの減でございます。資料にはございませんが、先ほどの集落排水事業への繰出金と合わせて、一般会計からの繰出金の合計は37億1,100万円余りで、前年度に比べて9,700万円余りの減としております。繰出金の充当先など、詳細につきましては、次の企業会計のほうで説明させていただきます。

以上で、一般会計予算の説明を終わります。よろしく願いいたします。

◆雲坂 衛分科会長 御説明を受けました。

本日の委員会では、説明のみとなっておりますが、委員の皆様で、聞き取りにくかった点や語句の確認等はございますか。よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆雲坂 衛分科会長 はい。

議案第21号令和4年度鳥取市下水道等事業会計予算（説明）

◆雲坂 衛分科会長 では、次に、議案第21号令和4年度鳥取市下水道等事業会計予算を御説明ください。山根次長。

○山根陽一次長兼下水道企画課長 はい。下水道企画課、山根でございます。まず、資料です。本日の説明に用います資料は、資料2の1、資料の2の2で、この2の1のほうの最後のページには、2の3が一緒にとじてありますので、よろしく願いいたします。

それでは、まず、資料2の1を御覧ください。令和4年度鳥取市下水道等事業会計予算について説明をさせていただきます。表紙をはぐっていただきまして、2ページ～4ページまでの下水道等整備現況図などにつきましては、先日の全員協議会で議場説明と重複いたしますので、

ここでの説明を省略させていただきます。

5ページを御覧ください。下水道等事業会計の当初予算案の概要を御説明いたします。収益的収支では、収益的収入が予算額87億9,400万円余り、前年度に比べて2億3,900万円余り、率にして2.7%の減を見込んでいます。下水道等事業の収益的収支の主なものとしては、下水道使用料、一般会計繰入金、そして、現金を伴わない長期前受金戻入でございますが、これらの収入が、下水道使用料で1,000万円の減、一般会計からの繰入金が5,600万円余りの減、長期前受金戻入が、1億7,100万円余りの減を見込んでおるところです。

一方で、収益的支出、予算額84億5,700万円余り、前年度に比べて1億4,200万円余り、率にして1.7%の減を見込んでおります。収益的支出の主なものには、営業費用では、包括的民間委託に代表される施設の維持管理費と、非現金支出でございます減価償却費、それから、営業外費用では、企業債の利子償還金がございますが、これらの支出が、まず、維持管理費のほうは、労務単価の上昇などを見込みまして、1,300万余りの増となった一方で、減価償却費が8,700万円余りの減、利子の償還金が9,300万円余りの減を見込んでおります。

この結果、当年度の収支の差引きである純利益ですが、3億3,600万円余りを見込んでおります。前年度に比べて9,700万余りの減ということで、減収減益予算となっております。ですので、純利益が減っているということでございますので、引き続き、効率的な事業運営に努め、安全で安心な下水道サービスが、将来にわたって提供できるように努めたいと考えておるところでございます。

次に、資本的収支ですが、資本的収入は、予算額46億3,500万円余り、率にして0.7%の減でございます。資本的支出は、予算額74億200万円余り、前年度に比べて7,100万円余り、率にして1%の減を見込んでおります。

以上によりまして、収益的支出と資本的支出、2つの支出を合わせた財政規模は、158億6,000万円余りとなりまして、前年度に比べて2億1,300万円余り、率にして1.3%の減を見込んでおります。

それでは、それぞれ詳細について御説明いたします。今回は、資料2の2を御覧ください。資料2の2の表紙をはぐっていただき、3ページを御覧ください。令和4年度鳥取市下水道等事業会計当初予算の内訳書でございます。前年度比較で、増減額の大きな項目を中心に説明させていただきます。

まず、収益的収入のうち、営業収益では、下水道使用料が予定額34億500万円余りと、前年度に比べて1,000万円余りの減を見込んでおります。この使用料の詳細につきましては、後ほど、下水道経営課のほうより御説明いたします。

次の一般会計負担金は、予定額19億2,000万円余り、前年度に比べて28万円余りの微減、これは、総務省繰り出し基準に基づく負担金で、汚水・雨水処理等の経費が減となったことによるものでございます。

下の一般会計補助金は、予定額3億900万円余り、前年度に比べ1,200万円余りの増、これは、主に資本費平準化債の元金償還費用の増などによるものでございます。

3行下の雑収益は、予定額4,100万円余り、前年度に比べ200万円余りの減、これは、水質

検査料、汚泥焼却施設維持管理費負担金等でございますが、それらが減となったものでございます。

次に、営業外収益の一般会計負担金は、予定額5億6,500万円余り、前年度に比べて7,100万円余りの減、これは、汚水・雨水処理等の経費が、特に利子償還の部分が減となったものでございます。

その下、一般会計補助金は、予定額2,400万円余り、前年度に比べて280万円余りの増となっておりますが、これは、資本費平準化債の利子償還額の増によるものでございます。

その下、長期前受金戻入ですが、予定額24億9,100万円余り、前年度に比べて1億7,100万円余りの減となりました。この長期前受金戻入でございますが、現金を伴わない繰延べ収入でございまして、過去に施設の建設や改良をする際に交付を受けた補助金などを、資産の耐用年数に応じて収益化して、収益に計上するものでございます。

ここで、一般会計当初予算でありました、一般会計操出金の充当先について御説明させていただきます。本年度の一般会計操出金は、繰り返しになります集落排水事業、公共下水道事業合わせまして、37億1,100万円余りとなっております。下水道企業会計側でいいますと、繰入金ということになりますが、その充当先としては、今ありました、営業収益の一般会計負担金19億5,000円余りと、一般会計補助金3億900万円余り。

次に、2の営業外収入の一般会計負担金5億6,500万円と、一般会計補助金2,500万円余り。

それと、12ページです。すみませんが、12ページに飛んでいただけますでしょうか。ここに、12ページに、資本的収入の負担金及び分担金というところございまして、他会計負担金、一般会計負担金で、8億9,100万円余り。これは、雨水処理に係る元金償還に充当しておりますが、今申し上げた部分に、繰出金を充当しているところでございます。

すみませんが、資料の5ページに戻っていただけませんか。5ページの収益的支出は、営業費用全体で、予定額74億9,300万円余り、前年度に比べ、5,900万円余りの減でございます。営業費用のうち、1の管渠費の全体は、予定額4億2,800万円余り、前年度に比べて540万円余りの増でございます。管渠費の中ほど、委託料というのがございますが、予定額3億8,500万円余り、前年度に比べて870万円余りの増でございます。主な内容は、包括的民間委託業務でございます。

表の下のほうですが、2ポンプ場費の委託料ですが、これも、包括的民間委託業務でございます。予定額1億8,900万円余り、前年度に比べて220万円余りの減でございます。

6ページを御覧ください。表の一番上、3処理場費の全体としました予定額17億3,700万円余り、前年度に比べて1,000万円余りの増でございます。このうち、委託料ですが、予定額16億2,800万円余り、前年度に比べて910万円余りの増となっております。これも、主な内容としましては、包括的民間委託業務の増によるものですが、これらの主な要因としましては、維持管理費におきまして、労務単価の上昇を見込んだことによりまして、運転経費などが増となったことなどによるものでございます。

7ページを飛びまして、8ページを御覧ください。6業務費ですが、下水道等使用料の賦課徴収に要する経費でございます。予定額1億7,000万円余り、前年度に比べて1,300万円余り

の増となっております。このうち、下から3行目辺り、委託料ですが、予定額1億1,900万円、前年度に比べて1,800万円余りの増となっております。委託料の内容としましては、下水道使用料賦課事務委託料等でございます。

9ページを御覧ください。7総係費ですが、予定額2億800万円余り、前年度に比べて760万円余りの増でございます。このうち、委託料は、予定額1,700万円余り、前年度に比べて280万円余りの増となっております。内容としましては、下水道施設を管理するシステムに、管渠など、施設を修繕するんですが、そういう修繕等の実績記録を反映させるための費用が増となったことによります。

10ページを御覧ください。貸倒引当金繰入額でございます。予定額3,200万円余り、前年度に比べて1,600万円余りの増でございます。これは、未収金の回収不能による損失に備える引当金繰入額の増を見込むものでございます。

その下、8減価償却費でございます。有形固定資産減価償却費は、予定額46億9,600万円余り、前年度に比べて8,700万円余りの減でございます。これは、下水道等事業が保有している施設の資産の減価償却費ですが、一般的に、建設改良工事によって、新たな資産をつくる、取得するとなりますと、償却費は増加していきんですが、従前からある、今ある施設については、耐用年数に応じて年次的に償却が終わっていくということで、今は償却が進んでいる状態ということでございます。

また、下の資産減耗費の固定資産除却費ですが、予定額1,100万円余り、前年度に比べて760万円余りの減でございます。これは、改築工事に伴って、不要となる施設の簿価価格を、帳簿上の価格があるんですが、それを除くものでございまして、当該年度の改築事業の見込みから、除却費を概算で計上しているものでございます。

表の中ほど、営業外費用ですが、全体で予定額9億5,200万円余り、前年度に比べて9,200万円余りの減でございます。営業外費用のうち、支払い利息及び企業債取扱諸費の企業債利子ですが、予定額8億3,300万円余り、前年度に比べて9,300万円の減となります。これは、主に、元利均等等で借入れしてます企業債の利子償還額が減少することによります。

次の2消費税及び地方消費税ですが、予定額1億1,500万円余り。前年度に比べて150万円余りの増です。これは、建設改良事業が急務になることによるものでございます。

11ページ、御覧ください。4の予備費でございます。予備費は予定額1,000万円、前年度に比べて900万円の増でございます。これは、近年想定を超える風水害などが各地で発生するなど、鳥取市内でも、風水害、大きなものが発生しつつございまして、それらの不測の事態に備えて、あらかじめ1,000万円を計上するもので、他都市の事例などを参考にして、この予備費額は設定してるものでございます。

12ページ、御覧ください。続きまして、資本的収支ですが、まず、資本的収入のほうを説明させていただきます。1企業債、建設企業債は、建設改良費の財源となるものでございまして、予定額15億400万円余り、前年度に比べて2,100万円余りの増でございます。建設改良費については、後ほど、資本的支出のほうで説明いたします。

その下の準建設企業債は、予定額11億6,100万円余り、前年度に比べ1,500万円の減でござ

ございます。これは、下水道事業債、特別措置分の減によるものでございます。なお、資本費平準化債については、前年同額の、当初予算同額の10億を限度として予算計上しているところでございます。

その下、補助金ですが、国・県の交付金は、先ほどの建設企業債と同様に、建設改良費の財源となるものでございまして、予定額9億3,900万円余り、前年度に比べて4,200万円余りの減となっております。これについては、後ほど、資本的支出のほうで説明いたします。

次の4負担金及び分担金ですが、全体で予定額9億2,500万円余り、前年度に比べ5,200万円余りの減となっております。内訳としましては、他会計負担金、一般会計負担金は、先ほどの繰入金の充当先として御説明しましたけども、予算額8億9,100万円余り、前年度に比べて4,100万円余りの減となっております。これは、起債の元金償還に当たるものでございますが、起債の償還が期日を過ぎておりまして、元金償還額が減少になっておることによります。

その下、受益者負担金及び分担金のうち、受益者負担金は、予定額3,200万円余り、前年度に比べて1,100万円余りの減を見込んでおります。

13ページを御覧ください。ページの一番下、その他資本的収入は、予定額1億400万円余り、前年度に比べて5,600万円余りの増となっておりますが、これは、道路拡幅工事等による下水道管の移設補償費の増を見込んでいるものでございます。

14ページを御覧ください。資本的支出でございます。1の建設改良費は、予定額26億6,600万円余り、前年度に比べて2,700万円余りの減となっております。内訳は、1管渠費の予定額15億8,500万円余り、前年度に比べて1億6,700万円余りの減となっております。この理由の1つとしては、今、東郷地区で進めております、集落配水施設の統合に係る管渠の整備費が、前年度に比べて減となったことなどによります。

次の2ポンプ場費ですが、予定額6億9,500万円、前年度に比べて2億5,900万円余りの増です。これは、現在進めております吉成ポンプ場での雨水ポンプ増設工事などの事業が本格化するもので、事業費が増となったものでございます。

次に、3処理場費でございます。予定額2億2,900万円余り、前年度に比べて1億1,800万円余りの減となっております。これは、今年度まで進めております、河原浄化センターの耐震工事・改築更新工事が、今年度に完了するというものによるものでございます。各建設事業の詳細につきましては、後ほど、下水道建設課のほうから御説明いたします。

16ページを御覧ください。2企業債償還金ですが、予定額47億3,500万円余り、前年度に比べて4,300万円余りの減となります。先ほど、資本的収入のところで御説明をしましたが、起債償還が期日を過ぎて、元金償還額が減少に転じたことによるものでございます。

以上によりまして、ページの中ほどにあります資本的収支差引きの計ですが、マイナスの27億6,700万円となっております。これは、収入が支出に対して27億円余り不足しているということでございます。こういう場合に、地方公営企業会計では、資本的収支予算の不足分ですが、これについては、経営活動による利益によって内部留保された資金や、減価償却費等の現金支出を伴わない費用によって内部留保された資金、いわゆる収益的収支の予算のほうから補填するということとしておりまして、補填財源は下のとおりでございます。

損益勘定留保資金、当年度分から15億7,300万円余り、同じく、留保資金の過年度分から11億5,400万円余り、あと、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額3,900万円余りで補填するというようにしております。下水道企画課からは以上です。

◆雲坂 衛分科会長 太田課長。

○太田潤一下水道経営課長 はい。下水道経営課、太田です。そうしますと、資料2の1に戻っていただきまして、その6ページを御覧ください。下水道等使用料の調定額、収入額について、改めて説明をさせていただきます。

この表、使用料収入、公共下水道であるとか、集落排水施設使用料の合計の調定額と収入額の推移を示しております、元年度分から記載しております。元年度・2年度は決算、3年度につきましては、2月補正後額、いわゆる見込額、4年度については、当初予算額というような形でございます。

令和2年度の実績のとき、全協で説明を部長のほうからさせていただきますけれども、消費税率の改定というのが主な原因でございました。ここで、対前年比0.1%、調定額ですね、プラスとなっておりますが、実質的には、コロナ禍による巣ごもり需要の影響等で、家庭用といます、いわゆる単価が低い小口水量が増加した一方、事業所を中心とします単価の高い大口水量が減少しておりました。この期間は、税込みではこう増えてるんですが、税抜きでは、マイナスの1.2%、約4,000万の減収となっていたところでございます。

令和3年度の調定額につきましては、引き続き、コロナ禍の影響が続いている上に、従来の人口減少であるとか、使用者の節水意識の浸透とか、節水機器の普及、これによりまして、有収水量がやっぱり減少傾向にございます。この関係で、前年度比マイナス1.3%の34億9,700万、これを見込んでいるところでございます。

4年度につきましては、やっぱりコロナ禍によります不確定要素ございますが、先ほどから申し上げております人口減少、節水意識等の状況を鑑みますと、調定額は、前年度比、前年度対2月補正後額との比では、マイナスの2.7%の34億560万余りと見込んでおります。3年度と比較しますと、決算見込額比ではマイナスの2.7%、当初予算比ではマイナスの0.3%ということになっております。6ページの説明は以上です。

◆雲坂 衛分科会長 河田課長。

○河田耕一下水道建設課長 下水道建設課の河田です。7ページを御覧ください。ここでは、資本的支出のうち、建設改良費の概要について、管渠費、ポンプ場費、処理場費の順に御説明いたします。8ページを御覧ください。

まず最初に、管渠費のうち、公共下水道の未普及対策事業です。本事業は、下水道認可区域内の未整備地域を解消する事業で、年次計画を立てまして、順次污水管の整備を進めているところでございます。ここで、赤色で示した箇所が、令和4年度に新たに整備する箇所でございます。令和4年度は、千代川左岸の大正地区、千代水地区などを中心に、工事を7か所予定しており、未普及解消を着実に進めてまいります。事業費といたしまして、5億4,380万円を計上しています。

次に、9ページを御覧ください。これは、管渠費のうち、公共下水道の浸水対策事業になり

ます。本事業は、市街地の浸水被害の防止や軽減を図るために、側溝や雨水管の整備を実施いたします。青色で示した箇所が、令和4年度の工事予定箇所、令和3年度より継続して実施する商栄町や国府町新町のほか、新たに着手する千代水3丁目など、計5か所の工事を予定しております。事業費として、3億2,000万円を計上しています。

続きまして、10ページを御覧ください。これは、管渠費のうち、公共下水道の耐震化及び長寿命化の事業になります。いつ起こるか分からない地震に備えまして、幹線となる管渠の耐震化や、破損等が原因で陥没が懸念されるような老朽管に対しまして、長寿命化対策を実施し、管渠の安全性を高める取組を行います。管渠の耐震化を行う箇所を黄色で、長寿命化を図る箇所を緑色で示してありまして、旧市街地を中心に計8か所の工事を予定しております。事業費として、4億7,780万円を計上しています。

続きまして、11ページを御覧ください。管渠費のうち、農業集落排水事業の概要を説明させていただきます。農業集落排水につきましては、施設の維持管理費を削減するために、施設の統廃合を進めており、現在、東郷地区において、平成29年度～令和5年度までの計画で事業を実施しております。令和3年度には、図で緑色で着色しているエリアになりますけれども、東郷、本高、南東郷、この3処理区の施設統合が完了いたしました。令和4年度は、山ヶ鼻地区と高路地区、図では、赤の点線で囲ってある地域ですけれども、この山ヶ鼻地区と高路地区、これを東郷処理場につなげる管路工事を、引き続き実施することとしております。事業費として、1億4,350万円を計上しております。

次に、12ページを御覧ください。ポンプ場費の概要を説明いたします。ポンプ場改築事業といたしまして、吉成ポンプ場の雨水ポンプ設備改築工事、立川中継ポンプ場ほか3ポンプ場の老朽化対策・耐震化詳細設計、的場ポンプ場の老朽化対策詳細設計を予定しています。また、ポンプ場増設事業といたしましては、昨年2月議会で債務負担の承認をいただき実施しております。吉成ポンプ場の雨水ポンプ設備増設工事を予定しています。事業費として、6億8,590万円を計上しております。なお、吉成ポンプ場の雨水ポンプ設備改築工事につきましては、令和5年度までの債務負担行為を設定したいと考えております。債務負担行為の概要につきましては、後ほど、別資料にて説明させていただきます。

続きまして、13ページを御覧ください。最後に、処理場の概要を説明いたします。処理場費では、処理場改築事業として、浜村浄化センターの管理棟ほか改築工事及び管理棟・塩素混和池の耐震補強工事、また、昨年2月議会で債務負担の承認をいただき実施している、電気設備改築工事、そのほか、秋里下水終末処理場濃縮設備の老朽化対策詳細設計を予定しております。事業費として、2億2,970万円を計上しております。

次に、14ページ、最後のページを御覧ください。これは14ページで、資料2の3としておりますけれども、ここでは、先ほど、ポンプ場費の概要のところの説明いたしました、吉成ポンプ場雨水ポンプ設備改築工事の債務負担の概要について説明いたします。

吉成ポンプ場は、鳥取市吉成地内に位置しており、周辺の排水区域を受け持っております。昭和63年4月に供用開始してから33年が経過しております。機械設備・電気設備を中心に老朽化が進んでおり、ポンプ施設の機能維持に懸念が生じていることから、機能維持に万全を期

するため、債務負担をお願いするものでございます。日本下水道事業団への委託を予定しており、令和4年度～5年度の2か年、4年度では1億7,190万円、5年度は、債務負担行為の限度額は、6億5,100万円でございます。

以上をもちまして、下水道部の令和4年度当初予算の概要説明を終わります。よろしく願いいたします。

◆雲坂 衛分科会長 御説明を受けました。

本日の委員会では、説明のみとなっておりますが、委員の皆様で、聞き取りにくかった点や語句の確認等はございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆雲坂 衛分科会長 はい。

以上で下水道部を終了し、予算審査特別委員会建設水道分科会を一旦終了いたします。執行部の皆様は御退席ください。お疲れさまでした。

建設水道委員会に切替え 午前11時39分 休憩

予算審査特別委員会建設水道分科会に切替え 午後2時22分 再開

【都市整備部】

◆雲坂 衛委員長 以上で建設水道委員会を終了し、予算審査特別委員会建設水道分科会を開催いたします。

議案第5号令和4年度鳥取市一般会計予算のうち所管に属する部分（説明）

◆雲坂 衛分科会長 それでは、議案第5号令和4年度鳥取市一般会計予算のうち、本分科会の所管に属する部分を御説明ください。永井次長。

○永井利幸次長兼都市企画課長 はい。都市企画課、永井でございます。令和4年度の一般会計予算について説明させていただきます。資料3を用いて説明させていただきたいかと思っておりますので、よろしくお願いいたします。説明に当たりましては、職員費を除くおおむね500万円以上の事業並びに主要事業について説明させていただきたいかと思っております。

まず、35ページ下段を御覧ください。都市整備部歳出合計、今年度の予算額は43億9,518万3,000円でございます。都市企画課分につきましては、2ページからになります。

3ページ上段を御覧ください。土木費、土木管理費、土木総務費、土木積算システム管理費でございます。予算書におきましては251ページになります。こちら、図面閲覧や加工のためのCADソフト、積算用のソフトに関する経費、土木積算システム経費といたしまして520万2,000円、土木設計図書ソフト運用事業費といたしまして39万6,000円、営繕積算システム経費といたしまして140万9,000円、合計の700万7,000円を計上しているところでございます。

下段を御覧ください。こちら、河川費の河川総務費、急傾斜地崩壊対策県営事業負担金になります。予算書につきましては259ページ、事業別概要は175ページ下段となります。本年度予算額としましては9,105万円、財源内訳といたしましては、地方債の8,690万円となります。

詳細については、後ほど説明いたします。

続きまして、中段を御覧ください。都市計画費、都市計画総務費、移動等円滑化促進事業費でございます。予算書につきましては263ページ、事業別概要176ページ上段となります。予算額につきましては594万4,000円、財源内訳といたしましては、国の支出金が250万円となります。こちらにつきましても、詳細については後ほど説明いたします。

続きまして、街路事業費、県営事業負担金でございます。予算書が263ページ、事業別概要につきましては176ページ下段となります。予算額につきましては1,170万円、財源内訳としましては、地方債が1,050万円となります。詳細につきましては、こちら後ほど説明します。

一番下段であります。4ページの一番下段であります。都市企画課の歳出合計3億4,502万5,000円となります。

5ページを御覧ください。急傾斜地崩壊対策県営事業負担金について御説明いたします。災害に強いまちづくりを進めるため、県が実施する急傾斜地崩壊対策事業に要する経費の一部を市が負担することにより、事業の促進を図るものでございます。青色で囲んである箇所、鹿野町の梶掛地区などの38件において、擁壁工事等の事業実施をするものでございます。

6ページを御覧ください。移動等円滑化促進事業費について御説明いたします。移動等円滑化促進方針、バリアフリーマスタープラン、こちらのほうは、駅、バスターミナル、空港などの旅客施設を中心とした地区や、高齢者・障がい者等の利用施設等が集まった地区、こちらが移動等円滑化促進地区といいますが、こちらにおいて、ハード・ソフトの両面から、面的・一体的なバリアフリー化を推進するため、広くバリアフリー化の考え方を共有するものでございます。

令和3年7月には、関係者等で組織する鳥取市移動円滑化協議会を設立し、マスタープランの策定に着手し、令和4年度も引き続き検討を行い、計画をまとめることとしております。移動等円滑化促進方針策定業務委託としまして500万円、移動等円滑化協議会の開催に係る経費といたしまして94万4,000円の計594万4,000円を計上しているところでございます。

7ページを御覧ください。県営街路事業負担金について説明いたします。県が実施する県営街路事業に要する経費の一部を市が負担することにより、幹線道路網の整備を促進し、交通渋滞の緩和、利便性の向上を図るものでございます。黄色で囲んでいる箇所、3路線4か所での事業を実施するものでございます。

以上、都市企画課分の当初予算でございます。

◆雲坂 衛分科会長 小森課長。

○小森毅彦交通政策課長 はい。交通政策課の小森です。交通政策課関係の予算についての説明であります。資料8ページを御覧ください。総務費、総務管理費、企画費、予算額は1,969万4,000円を計上させていただいております。細目4番、空港利用促進費のうち、4番、鳥取空港の利用を促進する懇話会負担金でございます。予算書は173ページ、事業別概要は177ページの下段でございます。鳥取空港の利用促進と利便性の向上を図るため、鳥取県、県東部・中部地区、それから、兵庫県但馬地区の自治体、鳥取商工会議所などの経済団体等で設立をいたしました、鳥取空港の利用を促進する懇話会の負担金でございます。

懇話会を中心とする官民連携の活動が高く評価されまして、平成26年3月から、国の政策コンテストにより増便で、鳥取一羽田の5便化が実現をしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響によりまして、減便が行われている状況でございます。令和3年度の鳥取空港の利用状況は、昨年度同時期に比べますと、若干上回っておりますが、依然として低迷が続いております。

令和4年度は、コロナの終息を見据えまして、利用回復に遅れが生じないよう、懇話会を中心に、コロナの感染状況を見ながら、広報活動やキャンペーン等を積極的に実施していきたいと考えております。予算額は1,251万円でございます。

続きまして、9ページを御覧ください。目交通対策費は4億8,842万6,000円を計上させていただいております。細目6番、地方バス路線維持対策費のうち、1番、地方バス路線維持対策補助金でございます。予算書は175ページでございます。市民生活を支える身近な交通手段であります、民間路線バスの不採算路線を維持するために、国・県・市で補助金を交付いたしまして、バス事業者を支援するものでございます。補助対象となります令和3年10月～令和4年の9月運行分の赤字総額を、昨年度と同程度の3億5,000万円と見込みまして、そこから、先月の1月臨時補正で計上させていただきました、緊急支援金1億900万円との差額を当初予算に計上させていただくものでございます。予算額は2億4,185万円でございます。

続きまして、その下、4番の高齢者等公共交通利用支援事業費でございます。予算書は175ページです。こちらは、高齢者や運転免許返納者の移動手段を確保するために、路線バス定期券を半額で購入できるよう、割引分を補助金としてバス事業者に交付するものでございます。令和4年度につきましては、本年度と同程度の約2,000件の申請を見込んでおります。予算額は1,998万1,000円でございます。

続きまして、細目7番、生活交通確保対策事業費です。こちらは、利用者の減少や運転手不足などから、バス路線の再編・減便・廃止等が進む中で、沿線の地域住民や交通事業者等、関係者と一緒になりまして、地域の実情に合った代替交通の導入を進めておりまして、乗合タクシー、市有償バス、共助交通の運行に取り組んでおります。これらの関係予算でございます1番のバス代替タクシー運賃補助金、それから3つ下の17番、市町村有償運送事業費、それから、2つ下の21番、地域主体型生活交通確保支援事業費につきましては、後ほど、別資料で詳しく説明をさせていただきます。

続きまして、10ページを御覧ください。細目8番、100円循環バス運行事業費です。そのうち、2番、100円循環バス運行費負担金でございます。予算書は175ページです。こちらは、中心市街地の活性化と交通空白地域の解消等を目的といたしまして、平成16年1月から本格運行を開始いたしました100円循環バスくる梨の運行費となっております。令和4年度は、本年度の決算見込額が8,843万2,000円でございますので、この金額を踏まえまして、昨年10月からのルート変更、ダイヤ改正の通年での運行効果などを見込んだ額を計上させていただいております。予算額は8,048万5,000円でございます。

続きまして、土木費、港湾費、港湾総務費、予算額は654万6,000円を計上させていただいております。細目4番、鳥取港振興対策費のうち、3番、鳥取港振興会対策費でございます。

予算書は261ページ、事業別概要は179ページの下段でございます。鳥取港の施設整備及び利用促進を図るために、市・県・商工会議所・民間団体が構成いたします鳥取港振興会、こちらの活動費補助金でございまして、県と市で折半することとしております。活動内容につきましては、鳥取港を活用した貨物の取扱いですとか、クルーズ客船の寄港を誘致するポートセールスの実施、それから、港湾の機能や利便性の向上に向けた調査・研究事業、情報発信事業等を行っております。ここ二、三年は、コロナの影響を受けまして、クルーズ客船の寄港中止が続いている状況ではございますが、コロナの終息後を見据えまして、コンテナ貨物船の定期就航を目指した試験輸送などにも取り組んでおりまして、今後も鳥取港振興会を中心に、積極的なポートセールスを展開してまいりたいと考えております。予算額は582万5,000円でございます。

それでは、先ほど触れました生活交通確保対策事業費の3事業につきまして、御説明を申し上げます。11ページを御覧ください。

まず、バス代替タクシー運賃補助金でございます。予算書は175ページ、事業別概要は178ページの上段でございます。乗合タクシーにつきましては、乗合事業の許可を受けましたタクシー事業者が運行をしまして、利用者は、区域内の路線バス運賃相当額で利用していただくというものでございまして、運行経費と運賃収入との差額を、タクシー事業者に補助金として支出するものでございます。現在、吉岡洞谷線、西郷線、雨滝上地線、米里線、こちらの4路線で運行をしているところでございますが、令和4年度中に、バス路線、神戸線の大幅な減便が予定をされておりました、新たに神戸線を加えた5路線分の予算を計上させていただいております。予算額は2,472万円でございます。

続きまして、12ページを御覧ください。市町村有償運送事業費でございます。予算書は175ページ、事業別概要は178ページの下段でございます。市有償バスは、市が自ら有償によりバスを運行するものでございまして、運賃、使用料でございまして、鳥取市自家用有償バス条例に基づきまして周知をしております。令和4年度につきましては、南部支線バスの本年3月末での廃止によりまして、気高循環バスと絹見バスの運行となります。こちらの経費としまして、予算額は2,793万8,000円を計上させていただいております。

最後に13ページを御覧ください。地域主体型生活交通確保支援事業費でございます。予算書は175ページ、事業別概要は179ページの上段でございます。こちらは、いわゆる共助交通に係る予算でございまして、NPO法人ですとか、まちづくり協議会等が運行主体となりまして、自家用車を使用して有償で運行するものでございます。現在、末恒地区、大和地区、福部地域、国英地区、佐治地域の5地域で運行をされておりました、本年4月から散岐地区、用瀬地域におきまして、新たに運行が開始されることから、7地域の運行経費を計上させていただいております。

資料の下に米印で記載をしておりますが、福部地域のらっちゃんバスの運行経費につきましては、別事業で計上をしておりましたけども、分かりにくいということから、令和4年度から本事業費に一本化をさせていただいております。予算額は2,914万1,000円でございます。

以上、交通政策課の当初予算につきましては、10ページの下に記載のとおり5億1,466万

6,000円でございますが、対前年度比でございますと1億20万9,000円の増額となっておりますが、一般財源で見ますと2,149万3,000円の増額に抑えておりまして、有利な財源を活用しながら、生活交通の維持・確保、利便性の向上を図った予算とさせていただきます。以上でございます。

◆雲坂 衛分科会長 有本課長。

○有本公博中心市街地整備課長 はい。中心市街地整備課、有本でございます。では、中心市街地整備課の当初予算について御説明を申し上げます。

引き続きまして、資料の14ページを御覧いただきたいと思っております。まず、総務費、総務管理費、企画費の都心居住推進事業費でございますが、予算書は173ページ、事業別概要は180ページの上段で、予算額は941万2,000円でございます。

次に、その下、遊休不動産利活用推進事業費で、事業別概要は180ページの下段、予算額は410万6,000円でございます。以上2件につきましては、後ほど御説明を申し上げます。

次に、商工費、商工業振興費、中心市街地活性化推進事業費でございます。予算書は247ページ、事業別概要は181ページの上・下段になります。予算額は、全体で3,232万8,000円でございます。その中、まず一番上でございますが、中心市街地活性化協議会運営助成事業費1,417万6,000円でございます。これは、中心市街地活性化協議会のプロジェクトマネージャー及び事務局の人員費、それから事務費を計上しております。

1つ飛ばしまして、中心市街地活性化推進事業費375万4,000円でございますが、これも後ほど説明を申し上げます。

その下、市民交流ホール運営費補助金1,139万8,000円でございます。これは、本通りにありますパレットとっとり内の市民交流ホールの運営に対しまして、人員費、事務費、それからイベント開催費などの利用促進につきまして、鳥取商工会議所へ補助をいたすものでございます。

次に、15ページを御覧ください。土木費、都市計画費、都市計画総務費、鳥取駅周辺にぎわい創出事業費で、予算書は263ページ、事業別概要は182ページ上段となります。予算額は、2つの事業を合わせまして744万1,000円でございますが、このうち、鳥取駅前大平線再生プロジェクト事業費660万7,000円につきましては、この後説明をさせていただきます。

それでは、資料の16ページを御覧いただきたいと思っております。街なか居住推進事業費でございます。これは、第3期中活計画の目標の1つにあります、若年層のまちなか暮らしの促進を図るために取り組んでいるものでございますが、従来から実施している事業といたしまして、県の宅建協会東部支部に専門相談員1名を配置しております、住もう鳥取ネットの運営費、また、末広温泉町に設置しております、まちなか居住体験施設K a r i 巢m a iの運営経費、これは、鳥取開発公社に委託をしております。それから、空き家情報バンクの運営などに、引き続き取り組んでまいります。

また、新規事業といたしまして、資料の下にイメージ図をつけておりますけれども、1つは空き家の担い手育成事業ですが、これは、空き家を利活用しようと考えている団体等が、空き家の調査や掘り起こし、あるいは、ワークショップや勉強会などを行う場合に、1団体当たり

60万円を支援しようとするものでございまして、うちの経費の一部3分の2につきましては、県補助を充当することとしております。

もう1つは、活動を支援した団体が、実際に空き家オーナーから借り受けた、管理委託を受けた場合に、その建物の清掃費や簡単な補修を行う場合は、1団体当たり20万円、サブリースのために改修を行う場合は150万円を支援しようとするものでございまして、これも3分の2の県補助を充当しようとするものでございます。

次に、17ページを御覧ください。遊休不動産利活用推進事業費でございます。中心市街地におきましては、先ほどの空き家の利活用とともに、リノベーションまちづくりも進めておりまして、従来から実施しています関係者との会議やイベントの開催、マッチング事業等に引き続き取り組んでまいります。

また、新規事業といたしまして、資料右下にイメージ図をつけておりますけれども、ワーケーションプログラムに取り組んでまいりたいと考えております。これは、以前開催しておりましたリノベーションスクールと、少し似ているやり方にはなりますけれども、図にありますとおり、実際にある空き物件を抽出いたしまして、本市に興味がある県外等の外部人材、それから、地元で取組を進めていらっしゃる人材等々が協力しながら、具体的な事業計画を約3か月程度でまとめていただきまして、事業化まで持っていこうとする二段構えの事業としたいと考えております。経費といたしましては、国の地方創生推進交付金を活用しまして、事業計画を策定するまでが227万円、事業化推進補助金を100万円、それぞれ見込んでございます。

次に、18ページを御覧ください。中心市街地活性化推進事業費でございます。これは、従来から発行しておりますエリア情報誌「わか」の発行経費、あるいは「WEB版わか」の運用経費、駅前に昨年設置いたしました、まちなかデジタルサイネージの運用経費などを計上しております。また、資料の下に「まちなかマップ」を載せておりますけれども、市民や観光客にこのマップが非常に人気でございまして、ニーズが非常に高いものとなっております。ただ、内容につきましては、都度見直しておりますけれども、平成25年度からデザインを変えておりませんでしたので、このたび、デザインを一新しようと考えてございます。

最後になります。19ページを御覧ください。鳥取駅前大平線再生プロジェクト事業費でございます。これは中心市街地の中でも、特にバード・ハットを活用するイベントに対しまして、管理運営を新鳥取駅前地区商店街振興組合に委託しますとともに、イベント補助を行うものでございまして、音楽に関するイベントや、定期的に開催されるマーケット等々の集客効果のあるイベントの開催を、引き続き支援してまいります。

以上、中心市街地整備課、予算額は、次年度9,050万9,000円となります。以上でございます。

◆雲坂 衛分科会長 稲干次長。

○稲干典史次長兼都市環境課長 はい。都市環境課、稲干です。資料3の20ページからが、都市環境課になります。衛生費、他会計繰り出し、水道事業会計へ繰り出しです。予算書は233ページ、予算額969万7,000円です。これは、殿ダム建設事業に伴う上水道事業償還額を水道局へ繰り出すものでございます。

それから、中段の辺ですね、土木費、土木管理費、土木総務費のうち、殿ダム対策費でございます。予算書は253ページ、予算額2,387万8,000円でございます。これは、ダム周辺地域の発展を図るために、周辺集落等が行うまちづくり事業等に要する経費に対する補助、また、指定管理による殿ダム周辺広場の維持管理、記念広場等の遊具修繕に要する経費でございます。財源として、殿ダム水源地域対策事業基金を充当しております。

その下のほうになります。河川費、河川総務費のうち、樋門管理費でございます。予算書は259ページ、予算額4,529万8,000円でございます。これは、大雨による河川水位の上昇に伴う家屋等の浸水被害を防ぐため、樋門・排水機場の管理を行うものでございます。国の管理委託が52か所、県管理が114か所、市管理が19か所、計185か所でございます。国・県からの管理受託費として4,054万7,000円、また、起債を充当しております。

その下です。河川維持管理費、予算書259ページ、事業別概要182ページの下段です。予算額3,939万6,000円、河川のしゅんせつ・除草等により排水機能を維持し、市民生活の安全確保を図るものでございます。詳細は後ほど説明いたします。

その下、普通河川改良事業費でございます。予算書259ページ、事業別概要183ページの上段、予算額2,850万円でございます。河川災害を未然に防止するため、河川等の改修を行い、浸水被害の軽減及び環境の改善を図るものです。内海川の改良工事、下味野の清水川の測量設計を行うものです。起債を充当してございます。

21ページでございます。治水対策事業費です。予算書が259ページ、事業別概要は183ページの下段でございます。予算額9,682万1,000円、台風や豪雨等の発生時に、宅地等への浸水被害を防ぐため、緊急対応や浸水対策を行うものです。詳細は、これも後ほど説明させていただきます。

その下です。急傾斜地崩壊対策事業費、予算書は259ページでございます。予算額1億6,975万円ですけども、そのうちの1つ、急傾斜地崩壊対策事業費です。鳥取県が整備予定の浜村地区、急傾斜地崩壊対策事業の計画斜面の一部に、鳥取市所有の土地がありまして、県事業では整備が困難であることから、本市が事業主体となって整備を行うものでございます。令和4年度は、災害防除工事、土留めと、のり枠を4,680万円として計上しております。

2つ目、小規模急傾斜地崩壊対策事業費です。保全人家5戸未満を対象とした急傾斜地崩壊対策事業であり、令和4年度は、気高町の土居地区と猪子地区での災害防除工事及び百谷地区での測量調査設計費として、1億2,295万円を計上しております。特定財源として、県の補助金が6,025万円、また、起債を充当しております。

その下ですね、都市計画費、都市計画総務費のうち、緑化推進事業費でございます。予算書は263ページ、事業別概要は184ページの上段です。予算額が551万4,000円、これは、緑化知識の普及や緑化意識の高揚に資するため、緑化知識の定着及び技術の向上を図るものでございます。ボランティアの育成支援、公園愛護会等の交流支援、また、ナチュラルガーデンの技術指導や花壇の設置を行うものでございます。特定財源として、県の補助金5万円、また、書籍売上金1,000円を予定してございます。

22ページをお願いいたします。上ですね、公園管理費のうち、公園管理費、都市公園管理費

でございます。予算書は263ページ、予算額は2億3,609万5,000円でございます。これは、都市公園等の維持管理業務を適正に行い、安全・安心な憩いの場を提供するものでございます。148か所の公園等の指定管理料、また、公共空地の除草等の費用、光熱水費等を支出するものでございます。財源といたしまして、使用料317万7,000円、自動販売機収入19万8,000円を見込んでございます。

その下です。芝生化推進事業費、公園芝生化推進事業費でございます。予算書は263ページ、事業別概要は184ページの下段でございます。予算額1,620万8,000円。市民が芝生化事業に参加することによって、協働意識の高揚を図るとともに、草刈り等の維持管理費用の縮減、安全・快適な遊び場の提供、環境保全などの効果を高めるものです。倉田スポーツ広場、野球場2面の新規芝生化、また、芝刈り機の購入2台、また、これまで芝生化を行った公園の芝生の養生費用等を支出するものでございます。令和3年度末現在で、公共空地含みますけども68公園、延べ83か所で芝生化を行っております。

一番下になります。他会計繰り出し、土地区画整理費特別会計へ繰り出し、予算書が269ページ、予算額3,890万4,000円でございます。内容につきましては、特別会計のほうで説明をさせていただきます。

都市環境課の予算額合計8億3,413万7,000円でございます。

23ページを御覧いただきたいと思っております。河川維持管理費の説明です。台風や豪雨等に伴う宅地浸水等の被害を未然に防止し、市民生活の安全確保を図るため、河川の排水機能の維持に努める必要がございます。令和2年度に新設された河川等のしゅんせつ経費に充当可能な地方債を財源といたしまして、しゅんせつ業務等による浸水被害の軽減を図るとともに、河川施設に係る予防保全等の対策を行うものでございます。令和4年度は、福井川など20か所でしゅんせつをする予定としております。予算額3,939万6,000円、緊急浚渫推進事業債3,060万円を充当しております。

24ページを御覧ください。治水対策事業費でございます。台風や豪雨等の発生時に、宅地等への浸水被害を防ぐため、既設ポンプ場の点検・修理や、維持管理を行うものです。また、浸水被害の発生した河川に浸水対策工事などを行うとともに、浸水区域の規模や水深を明らかにした浸水想定区域図を作成いたしまして、効果的な浸水対策を図るものでございます。浸水対策工事としては、糸谷川、佐貫地内水路など2か所で、浸水想定区域図は、福部町湯山地区、東大路地区などで2か所、測量設計は、小沢見地区排水ポンプ整備など4か所を予定しております。予算額は9,682万1,000円、財源といたしましては、県道・河川管理料等の管理費95万3,000円、緊急自然災害防止対策事業債7,670万円を充当してございます。

都市環境課は以上でございます。

◆雲坂 衛分科会長 1時間ほどたちましたので、換気等のため、休憩に入りたいと思っております。

午後2時57分 休憩

午後3時13分 再開

◆雲坂 衛分科会長 それでは、予算審査特別委員会建設水道分科会を再開いたします。田村課長。

○田村 温道路課長 はい。道路課、田村です。資料3の25ページから説明したいと思います。道路台帳整備費、予算書は255ページ、予算額1,635万5,000円を計上させていただいております。これは、今年度、市道認定をいたしました、河原から佐治に向かう市道の台帳整備と、国府・福部・鳥取地域の道路台帳の整備を行うものでございます。特定財源の内訳は、過疎債でございます。

続きまして、道路管理費、予算書は255ページ、事業別概要書は185ページ上段、予算額は3億867万5,000円を計上させていただいております。道路パトロール、道路施設等の破損箇所等の修繕、道路沿線の除草、植栽の剪定、鳥取駅南北の公園、鳥取大学駅前の公園などの管理、道路照明灯の補修、原材料の支給などを実施することにより、市道を管理する費用となっております。特定財源の内訳は、国・県支出金129万2,000円で、これは、県のLEDの補助金となっております。過疎債380万円、その他財源の内訳は、使用料5,813万4,000円、これは、道路占用料3,177万1,000円と、鳥取駅南口等の駐車場料金2,636万3,000円です。あと、証明手数料11万9,000円、道路損害賠償保険等が100万円でございます。

続きまして、一般道補修費、予算書は255ページ、事業別概要書は185ページの下段、予算額1億9,797万3,000円を計上させていただいております。これは、地区要望による側溝改良、歩道改良、のり面補修、必要な道路修繕工事等、舗装の打ち換え、LEDの照明灯への交換、カーブミラーの補修など、道路構造物や道路附属物の延命化を実施する費用でございます。特定財源の内訳は、地方債5,640万円で、公共施設等適正管理推進事業債、過疎債です。また、その他財源は、道路工事に伴う下水道マンホール蓋、及び、下水道の施工分の舗装に係る負担金865万円です。

引き続きまして、車両経費、予算書は同じく255ページ、予算額は1,000万1,000円でございます。道路管理センターに配備する車両の修繕・燃料費、リース等の経費でございます。

続きまして、除雪関係費、予算書は同じく255ページ、事業別概要書は186ページ上段、予算額780万3,000円を計上しております。これは、9月までの消雪施設の電気代と、除雪車の車検代、小型除雪機の点検代、除雪機械の運転育成の支援補助金となっております。

続きまして、道路新設改良費、地方道路整備交付金事業費、社会資本整備総合交付金事業費、予算書は257ページ、事業別概要書は186ページの下段、予算額は6,786万7,000円を計上しております。詳しくは、後に図面で御説明させていただきます。特定財源は、国・県支出金3,534万5,000円、地方債2,950万円、公共事業等債と過疎債でございます。

続きまして、防災・安全交付金事業費、予算書は257ページ、事業別概要書は187ページ上段、予算額は3億4,578万2,000円を計上しております。特定財源の内訳は、社会資本総合整備交付金事業費と、国の費用が1億7,485万6,000円、地方債は、公共事業等債と過疎債で1億910万円となっております。

続きまして、交通安全施設事業費となります。予算書は259ページ、事業別概要書は187ページの下段となっております。予算額2,015万9,000円を計上しております。これは、カーブ

ミラー、ガードレール、反射ポール、路面標示等の安全施設の設置や修繕を行うものでございます。特定財源は、過疎債を充てております。

社会資本整備総合交付金事業と防災・安全交付金事業について、詳しく説明させていただきます。26ページを御覧ください。国の交付金を活用して、4事業を実施します。主な事業としては、南岸線などの道路整備、上砂見5号線大橋の架け替えに伴う物件補償を予定しております。なお、全体ので説明させていただいた南岸線については、本年度、完成予定となっておりますし、古市橋の歩道新設についても、今年度、完成予定となっております。

引き続きまして、27ページを御覧ください。通学路として、広西1号線ほか、2路線の歩道整備を実施します。今年度ですね、令和4年度に広西1号線については、完成する予定となっております。

引き続きまして、28ページを御覧ください。道路の危険箇所において、のり面の補修や電線類地中化等の防災対策及び道路拡幅等を実施するとともに、橋梁点検を行っていきます。

道路課の支出合計額、12億8,175万7,000円です。以上でございます。

◆雲坂 衛分科会長 尾坂次長。

○尾坂和昭次長兼建築指導課長 はい。建築指導課、尾坂です。よろしく申し上げます。引き続き、資料3の29ページを御覧ください。予算書は253ページです。事業別概要は、その都度説明させていただきます。

まず、福祉のまちづくり推進事業費でございます。事業別概要は188ページの上段でございます。500万円を計上しております。この事業は、バリアフリー法や、県の福祉のまちづくり条例の基準に基づいて整備を行う、民間の特定建築物の建築主に対して、整備に要する費用の一部を交付するものでございます。予算は、過去の実績を基に、既存トイレの改修・整備について、車椅子用のトイレであったり、店舗用のトイレの洋式化等を6件程度見込んで予算化しております。

次に、資料3の29ページのがけ地近接等危険住宅移転事業費でございます。事業別概要では、188ページ下段でございます。予算額は518万5,000円を計上しております。この事業は、崖地の崩壊等により、危険を及ぼすおそれのある区域にある住宅を、安全なところに移転するために住宅を除却する、また、建て替え等の借入れに対する利子補給を行うものでございます。予算は、除却と建て替えに、1件に対して事前相談がありましたので、それについて予算化しております。

次に、石綿改修支援事業費でございます。事業別概要は189ページの上段でございます。それから、細かい内容につきましては、資料3の31ページを御覧ください。予算額は1,667万円を計上しております。この事業は、アスベストを使用している建物に対する支援事業でございます。アスベスト含有の調査は100%の補助、除却・封じ込め・囲い込み工事を行うものについては、3分の2の補助をしていくというものでございます。予算は、除却等の工事については、事前相談のあったものなど、3件程度を見込んで予算化しております。

次に、17番、住宅・建築物耐震診断・改修支援事業費でございます。事業別概要は189ページ下段、それから、細かい内容につきましては、資料3の32ページを併せて御覧ください。

予算額は、3,737万6,000円を計上しております。これは、耐震診断・設計・改修工事をするものに対して助成を行っていくものでございます。予算は、耐震化の入り口となる住宅の無料耐震診断を60件に増やすとともに、引き続き、建築物の耐震化や、危険なブロック塀の撤去・改修を予定させていただいております。

続いて、21番、空家対策事業費でございます。事業別概要は190ページ上段でございます。それから、細かい内容につきましては、資料3の33ページを御覧ください。予算額は1,386万5,000円を計上しております。この事業は、平成31年3月に策定しました空家等対策計画の中で、危険空き家対策を重要な施策の1つと位置づけ、特定空家等の所有者に対して、必要な指導や助言を行い、主に特定空家等の解体補助を行っております。立地条件などから、解体費用が高額になる空き家について解体を促進するために、令和2年度から補助率2分の1、上限60万円に拡充して、自主的な危険空き家の解体を促していきたいと考えております。事業費としては、600万円を予算化しております。また、相続人の調査において、かなりの時間を要するものについて、調査を効率よく行うため、鳥取県公共嘱託登記司法書士協会への委託を予定しております、70万円を予算化させていただいております。

資料3の30ページの一番下になります。建築指導課の今年度予算額は、1億8,752万6,000円でございます。建築指導課は以上でございます。

◆雲坂 衛分科会長 太田課長。

○太田忠孝建築住宅課長 はい。建築住宅課、太田でございます。引き続き、建築住宅課の令和4年度予算を説明いたします。説明資料3の34ページを御覧ください。総務費、総務管理費、財産管理費の定期借地権付土地分譲事業費でございます。予算書では169ページ、事業別概要のほうでは190ページ下段となります。新年度予算額1,732万6,000円を計上しております。財源の内訳は、その他財源として、財産収入と一般財源でございます。これは、合併以前に、町が公社へ住宅用地として造成していただき販売しておりました、鳥取県住宅供給公社所有の青谷町望町団地、鳥取市土地開発公社所有の鹿野町湯川団地について、土地の分譲促進を図るため、定期借地権付土地分譲を導入して販売しております。定期借地権付土地分譲となった場合、公社から鳥取市が購入し、借受人に貸与することとしております。この購入予定額、両団地各1区画分の費用及び広報費用を計上しております。

続きまして、土木費、住宅費、住宅管理費、住宅維持補修費でございます。予算書では265ページを御覧ください。新年度予算額5,162万円を計上しております。財源の内訳は、全てその他財源で、家賃、修繕費の入居者負担金等でございます。これは、緊急的な修繕、入居に伴う修繕、建物の安全を維持するための定期点検費用、火災保険等でございます。

続きまして、同じく住宅管理費の住宅維持補修費で、施設管理業務委託事業費でございます。予算書では265ページ、新年度予算額5,860万3,000円を計上しております。財源はその他財源で、家賃収入でございます。これは、市営住宅の施設管理業務を民間の賃貸住宅管理会社に委託し、民間の持っているノウハウを活用し、適切な対応を図り、住民サービスの向上を目指しているもので、賀露・湖山・徳吉・旭町・大森・湯所・材木・田島団地の計1,415戸への民間委託で管理を行います。

続きまして、同じく住宅管理費の県営住宅管理費でございます。予算書では265ページを御覧ください。新年度予算1,051万7,000円を計上しております。財源の内訳は、県からの支出金でございます。これは、管理代行をしている県営住宅の管理費でございます。

続きまして、資料3の35ページとなります。住宅管理費の住宅管理事務費で、その他住宅管理事務費でございます。予算書では265ページ、新年度予算額1,878万7,000円を計上しております。財源の内訳は、その他財源で家賃収入でございます。これは、入居者募集・選考に係る事務費、家賃・駐車場料金の賦課徴収、未納家賃等の納付指導に係る事務費、住宅管理人、水道管理人、駐車場管理人の報償費などでございます。

続きまして、同じく住宅管理費の住宅管理事務費で、若者向け賃貸住宅公社負担金でございます。予算書では265ページです。新年度予算額855万2,000円を計上しております。財源の内訳は、その他財源で家賃収入でございます。これは、旧青谷町が若者の定住促進を目的として、旧青谷町内の賃貸住宅不足を解消するために、鳥取県住宅供給公社に依頼して、平成14年度に建設したもので、住宅供給公社へ年855万1,461円を支払うものです。50年間の契約終了後、市に譲渡されることとなっております。

続きまして、同じく住宅管理費の住宅管理事務費で、市営住宅水道料金各戸計量・徴収事業でございます。予算書では265ページ、新年度予算615万円を計上しております。財源の内訳は、その他財源として、家賃収入でございます。これは、共同住宅の建物では、水道管理人が各戸メーターを検針し、水道局から請求された水道料金を、各戸の使用した水量に基づいて徴収しておりました。しかし、近年、団地の高齢化が進む中、この徴収そのものが機能不全に向かうなど、新しい仕組みづくりが求められていました。平成25年度より、この水道管理人制に変え、水道局が直接検針を行い、料金の徴収を行っていただいていたが、水道局もこの事業から撤退する方向であり、令和2年度から、民間事業者へ順次移行を進め、最終年となる令和4年度に、民間事業者へ4団地30棟680戸の移行を進めることとしています。

続きまして、同じく住宅管理費の住宅セーフティネット事業費でございます。予算書では265ページ、事業別概要では191ページ上段でございます。新年度予算776万円を計上しております。財源は、社会資本整備交付金、県の補助、一般財源でございます。国は、高齢者・低額所得者等の住宅確保要配慮者、以下、住宅要配慮者といいますが、に対して、民間の空き家、空き室を利用した住宅供給を進めるため、住宅要配慮者の入居を拒まない民間賃貸住宅の登録、登録住宅の改修や、住宅要配慮者の入居に関する経済的支援、住宅要配慮者の居住支援の3点を柱とする、住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律、いわゆる住宅セーフティネットと申しますけど、の改正を平成29年10月に行い、本市は国に呼応して、平成30年度に住宅セーフティネット補助制度を創設して、運用してまいりました。これは、登録住宅の改修や、住宅要配慮者の入居に対する経済的支援に当たる、登録住宅の改修補助金、家賃低廉化補助金、家賃債務保証低廉化補助金の事業をお願いするものです。

続きまして、土木費、住宅費、公営住宅建設費のストック総合改善事業費でございます。資料3の35ページと36ページを御覧ください。予算書では267ページ、事業別概要書では191ページ下段でございます。新年度予算8,341万5,000円を計上しております。財源は、社会資

本整備総合交付金、起債、一般財源でございます。これは、老朽化に伴い、気高の西浜団地にある3棟を、順次ストック改善を行い、高齢者への安全・利便に配慮したリフォームを行うことにより、住宅環境の改善を図っているものです。平成29年度に53年棟の設計を始め、30年度に53年棟の改修工事、54年棟の改修設計、令和元年度は、53年棟の後年分の工事と54年棟の前年分工事、56年棟、3棟目の改修設計を実施しております。令和2年には、令和元年度着手の54年棟の後年分の事業を実施しました。令和4年度は、最終の棟である56年棟の改修工事を行うものです。これ、2か年で行うものです。

続きまして、土木費、住宅費、公営住宅建設費の公営住宅等長寿命化対策費でございます。資料3の35ページと37ページを御覧ください。事業別概要書では、192ページ上段でございます。新年度予算1,496万3,000円を計上しております。財源は、社会資本整備交付金、起債、一般財源でございます。これは、市営住宅の予防・保全的な維持管理や、耐久性の向上に資する改善等の計画的な実施により、ストックの長寿命化を図り、ライフサイクルコストの縮減につなげることを維持管理の基本とする鳥取市営住宅長寿命化計画に基づき、市営住宅大森団地RG3棟の改修事業の実施設計、及び、RG2棟入居者の仮移転を行うものです。このRG3棟は、昭和60年建設のため、老朽化が進んでおります。そのため、現在の世代構成等に合わせた間取り改修、高齢者の方などの安全面に配慮したバリアフリー化や、給湯設備等の機能向上なども併せて行い、居住環境の改善が図られるよう、実施設計を行います。

続きまして、同じく公営住宅建設費の市営住宅建替事業費で、長瀬団地建替事業費でございます。資料3の35ページ、38ページを御覧ください。予算書では267ページ、事業別概要書は192ページ下段でございます。本年度予算額6億9,738万円を計上しております。財源は、社会資本整備交付金、起債、一般財源でございます。これは、昭和51年～58年度に建設され、老朽化が進んでいる河原町長瀬団地の12棟42戸の建て替えを、民間が施設の設計・建設などを行い、民間の資金や技術的ノウハウを活用することができるPFI事業で、令和2年度から行っております。令和4年度が事業の最終年となることから、事業完了引渡し後に、事業費の一括支払いをする費用及び入居者移転費をお願いするものです。今後の予定といたしましては、令和4年10月に完成、引渡し後、入居者の本移転をすることとなっております。

最後となります。公営住宅建設費の市営住宅屋根改修事業費でございます。資料3の35ページを御覧ください。予算書では、267ページでございます。本年度予算額9,902万円を計上しております。財源の内訳は、起債と一般財源でございます。屋根材の劣化が著しい賀露団地・旭町団地・材木団地・湯所団地・大森団地の5団地18棟の屋根を、平成31年～平成36年度の6年間で、各年度3棟ずつ屋根の全面改修を行っており、令和4年度も引き続き、3棟の改修をお願いするものでございます。

以上、建築住宅課、令和4年度当初予算11億4,156万3,000円をお願いするものでございます。

引き続きまして、債務負担の説明をさせていただいてよろしいですか。

◆雲坂 衛分科会長 はい。

○太田忠孝建築住宅課長 では、引き続きまして、建築住宅課の令和4年度の当初予算債務負担

行為の御説明をいたします。予算書が15ページ、事業別概要247ページでございます。鳥取市土地開発公社借入金の損失補償でございます。これは、鳥取市土地開発公社が、湯川住宅団地用地を取得するために、金融機関から借り入れた資金並びに当該借入資金に対する利子相当額の合計金額を限度とする債務補償です。

同じく、予算書15ページ、事業別概要248ページ、西浜団地ストック総合改善事業工事費でございます。この債務負担額、債務負担1億2,299万3,000円をお願いするものです。これは、先ほど、令和4年度当初予算でも御説明いたしました、西浜団地ストック総合改善事業工事費で、令和4年度～5年度の期間で工事を実施するため、お願いするものでございます。

以上、建築住宅課、説明を終わります。

◆雲坂 衛分科会長 御説明を受けました。

本日の委員会では説明のみとなっておりますが、委員の皆様で、聞き取りにくかった点や語句の確認等はございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議案第6号令和4年度鳥取市土地区画整理費特別会計予算（説明）

◆雲坂 衛分科会長 なしということで、次に、議案第6号令和4年度鳥取市土地区画整理費特別会計予算を御説明ください。稲干次長。

○稲干典史次長兼都市環境課長 はい。都市環境課、稲干です。土地区画整理費の特別会計でございます。資料3の39ページを御覧ください。歳入でございます。予算書は333ページです。繰入金、一般会計繰入金、予算額3,890万4,000円を計上させていただいております。

その下になります。繰越金、前年度繰越金でございます。予算額2,000円を計上させていただきます。

下になります。諸収入のうち、保留地払下収入、千代水第二地区保留地払下収入でございます。予算額は、576万5,000円を計上させていただきます。

一番下になります。雑入です。予算額1万円です。これは電柱7本の事業用地使用料でございます。

歳入の合計4,468万1,000円でございます。

40ページをお開きください。土地区画整理費特別会計の歳出でございます。予算書は335ページになります。千代水第二土地区画整理費のうち、区画整理事業費、保留地処分事務費でございます。事業別概要は253ページの上段となっております。予算額は、577万6,000円、これは、不動産鑑定費用、保留地販売媒介手数料、除草などの維持管理経費、また、宅地改良業務等を予定しております。財源といたしまして、保留地払下げ収入などを充当しております。

下です。公債費のうち、元金、長期借入金元金償還金でございます。予算額は、3,494万9,000円を計上させていただきます。

その下になります。公債費のうち、利子、長期借入金利子償還金でございます。予算額は395万5,000円。

また、その下ですけれども、予備費として1,000円を計上させていただきます。

土地区画整理費特別会計歳出合計ですが、4,468万1,000円を計上しております。以上です。

◆雲坂 衛分科会長 御説明を受けました。

本日の委員会では説明のみとなっておりますが、委員の皆様で、聞き取りにくかった点や字句の確認等がございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆雲坂 衛分科会長 はい。以上で、予算審査特別委員会建設水道分科会を閉会いたします。

午後3時44分 閉会

令和4年2月鳥取市議会定例会
建設水道委員会・予算審査特別委員会建設水道分科会

令和4年2月24日(木)
6階 会議室6-7・8

下水道部 (24日10:00～)

----- < 建設水道委員会 > -----

1. 議案(説明・審査):先議分

議案第23号 令和3年度鳥取市一般会計補正予算(第15号)【所管に属する部分】

議案第38号 令和3年度鳥取市下水道等事業会計補正予算(第2号)

2. その他

「鳥取市下水道等事業運営審議会答申」について

----- < 予算審査特別委員会建設水道分科会 > -----

1. 議案(説明)

議案第5号 令和4年度鳥取市一般会計予算【所管に属する部分】

議案第21号 令和4年度鳥取市下水道等事業会計予算

※裏面があります

----- < 建設水道委員会 > -----

1. 議案(説明・審査):先議分

議案第 23 号 令和 3 年度鳥取市一般会計補正予算 (第 15 号) 【所管に属する部分】

議案第 24 号 令和 3 年度鳥取市土地区画整理費特別会計補正予算 (第 1 号)

2. 議案(説明)

議案第 44 号 鳥取市自家用有償バス条例の一部改正について

議案第 50 号 鳥取市勤労者住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について

議案第 58 号 鳥取市都市公園の指定管理者の指定について

議案第 64 号 市道の路線の認定について

議案第 65 号 市道の路線の変更について

3. その他

市道における道路賠償事故について

----- < 予算審査特別委員会建設水道分科会 > -----

1. 議案(説明)

議案第 5 号 令和 4 年度鳥取市一般会計予算 【所管に属する部分】

議案第 6 号 令和 4 年度鳥取市土地区画整理費特別会計予算